

8. 現状の評価及び今後の重要度の変化

38 の施策項目に対する現状の評価と今後の重要度の各得点を、平成 23 年度調査と比較したものが下記のグラフである。今回調査の各施策得点から平成 23 年度調査の得点を引いたものを、評価得点及び重要度得点の差異としている。

現状の評価が上昇したものは【4】中心市街地の活性化、【12】防災・危機管理対策の充実、【8】健康づくりの支援などで、逆に評価が下がったものは【21】農業振興地域の保全、【27】就学前からの教育の充実、【6】高齢者福祉の充実、【13】人権尊重の確立などである。今後の重要度が上昇したものは【17】道路ネットワークの充実などで、逆に重要度が下がったものは、【38】議会活動への支援、【10】生活困窮者の自立支援、【13】人権尊重の確立、【33】協働と市民活動の推進などとなっている。

図 59 現状の評価及び今後の重要度の変化（平成 23 年度調査との比較）

